

2015年5月15日
全国大学体育連合

東京オリンピック・パラリンピック大学連携実態調査結果概要

2014年10月1日現在、761の大学・短期大学が東京オリンピック・パラリンピック組織委員会と連携協定を締結しています。この連携協定を大学体育にとっても実り多いものにするために、協定を結んでいる会員校の対応と体育教員の取り組みの実態を調査しました。

<アンケート調査概要>

調査期間	2014年12月15日～2015年1月27日
調査対象	(公社)全国大学体育連合会員校 260大学・36短期大学
回答数	49大学(18.8%)・4短期大学(8.3%)
結果報告	機関誌『大学体育』105号

結果1 オリンピック教育については、関連内容取扱が最も多く約5割であった。

(複数回答可)

①体育科目の中で、取り扱っている／扱う予定	29校
②オリンピック関連科目を開講している／開講する予定	14校
③公開講座で開講している／開講する予定	11校

結果2 パラリンピック教育については、関連内容取扱が最も多く約4割であった。

①体育科目の中で、取り扱っている／扱う予定	25校
②パラリンピック関連科目を開講している／開講する予定	11校
③公開講座で開講している／開講する予定	7校

結果3 行っている活動は広報活動が約3割、イベント開催が約2割であった。

①広報活動 16校

活動内容：「ポスター掲示・のぼり旗・垂れ幕設置」「大学行事」「学園祭」
「地域イベント」「ピンバッジ着用」「新聞・ホームページ」

②イベント開催 11校

イベント名：「公開講座」「講演・シンポジウム・フォーラム」「各種スポーツ大会」

結果4 大学連携に対する自由意見：

- ・組織委員会に具体的事業案、特に地方の大学でもできることを示して欲しい（3校）
- ・オリンピック・パラリンピアンを講師として派遣してもらいたい（2校）
- ・学生や教員が活動できる場の情報が欲しい（2校）
- ・学生のスポーツに対する意識を変えるチャンスとして活かしたい
- ・他の提携校と地域で連携したい
- ・通訳ボランティア育成に注力する
- ・大学体育・スポーツの活性化に役立てたい
- ・この調査のデータの公開を望む
- ・学生の自主的な活動が生まれてくることを望む

調査協力校（学校名の公開を可とした大学・短大）（順不同）：

北海道教育大学・石巻専修大学・仙台大学・千葉大学・筑波大学・中央学院大学・
フェリス学院大学、文教大学・東京大学・お茶の水女子大学・了徳寺大学・
神田外語大学・首都大学東京・明治大学・東京農工大学・東京女子体育大学・法政大学・
東京女子大学・東洋大学・日本女子体育大学・東京造形大学・東京女子大学・明治大学・
成城大学・日本女子体育大学・日本女子大学・東京造形大学・慶應義塾大学・上智大学・
常葉大学・福井県立大学・愛知大学・愛知東邦大学・名古屋学芸大学・
びわこ成蹊スポーツ大学・東大阪大学・大阪体育大学・桃山学院大学・京都外国語大学・
京都学園大学・三重大学・天理大学・九州大学・九州共立大学・九州工業大学・
福岡大学・長崎大学・長崎純心大学・鹿屋体育大学
杉野服飾大学短期大学部・金城大学短期大学部・西日本短期大学・徳島文理大学短期大
学部

作成：地域貢献推進ワーキング・グループ（師岡文男・飯田祥明・小林勝法）